<H18-pm1-A : 問題>

次の文は、測量法（昭和 24 年 6 月 3 日法律第 188 号）に基づき、公共測量の実施について記述したものである。下線の語句について、正しいものには○を、誤っているものは正しい語句を、それぞれ解答欄に記せ。

1. 測量計画機関は、公共測量を実施しようとする場合においては、あらかじめ当該測量に関し観測機械の種類、観測法、計算法等を規定した ^(ア) 作業規程を定めて、^(イ) 都道府県知事の承認を得なければならない。これを変更しようとする場合も同様とする。
2. 基本測量の測量成果を使用して測量を実施しようとする者は、^(ウ) 測量計画機関の長がその測量成果が当該測量に関して適切なものであるか否かを確かめるために、あらかじめその承認を得なければならない。
3. 公共測量を実施しようとする者は、国土地理院の長の承認を得て、基本測量のために設置した ^(エ) 測量標を使用することができる。
4. 測量計画機関は、公共測量を実施しようとするときは、目的、地域及び期間、精度及び方法、^(オ) 測量作業機関の名称を記載した計画書を添えて、あらかじめ国土地理院の長の ^(カ) 許可を求めなければならない。
5. 測量計画機関の長は、公共測量を実施しようとするときは、あらかじめその地域、期間その他必要な事項を関係 ^(キ) 市町村長に通知しなければならない。
6. 公共測量は、^(ク) 基本測量又は ^(ケ) 基本測量及び公共測量以外の測量の測量成果に基づいて実施しなければならない。
7. 測量計画機関は、公共測量の測量成果を得たときは、遅滞なく、その写を ^(コ) 国土地理院の長に送付しなければならない。

<H18-pm1-B : 問題>

次の文は、公共測量について述べたものである。正しいものには○を、間違っているものには×及びその理由を解答欄に記せ。

1. 公共測量の 1 級基準点測量に使用していた 1 級トータルステーション(以下「TS」という。)が測量作業中に故障したため、2 級 TS を用いて、残りの測量作業を実施した。
2. A 氏は測量士や測量士補の資格を持たないが、測量に詳しく TS の扱いにも慣れているため、公共測量の 3 級基準点測量において TS 測量を実施した。
3. 作業が予定よりも早く終了したため、測量作業機関は速やかに測量成果、測量記録、その他必要な資料を整理して、測量計画機関に提出した。
4. 測量計画機関に勤務する B 氏は、測量士補の資格を有し、公共測量に関する計画を作製した。
5. 測量計画機関の C 市は、測量成果を電子納品させることとしたため、測量作業機関は測量成果を電子媒体に格納して納品した。

<H18-pm1-C : 問題>

公共測量の成果は、後続の測量や他の公共測量の基礎として使用されることから。その実施に当たっては、技術管理が適正に実施されなければならない。

公共測量の技術管理には、測量計画機関が行う監督と検査、測量作業機関が行う精度管理、十分な技術力を有する第三者機関が行う測量機器や測量成果の検定などがある。次の各問に答えよ。

問C-1, 測量計画機関が行う監督と検査について、担当者が行うべき事項を解答欄にそれぞれ 100 字以内で記せ。

問C-2, 測定の正確さを確保するために、測量作業機関が実施すべき精度管理の事項を二つ、それぞれ 40 字以内で解答欄に記せ。

<H18-pm1-D : 問題>

測量作業の円滑な実施のためには、測量技術者が技術的な研さんを積むだけではなく、現地での作業に際し、測量法及び関係法令などを遵守するとともに、社会的慣行を尊重することも大切である。

また、作業における十分な安全の確保に努めなければならない。測量作業の責任者としての立場から、次の各問に答えよ。

問D-1, 現地立ち入りをともなう公共測量(例: 基準点測量, 対空標識設置など)を実施するに当たり、立ち入り前に現地の状況について確認しておくべき事項を二つ、解答欄に記せ。

問D-2, 現地作業の実施における安全対策について三つ、解答欄に記せ。

問D-3, 現地作業を終了し、作業地を離れる際に留意すべき事項を二つ、解答欄に記せ。